

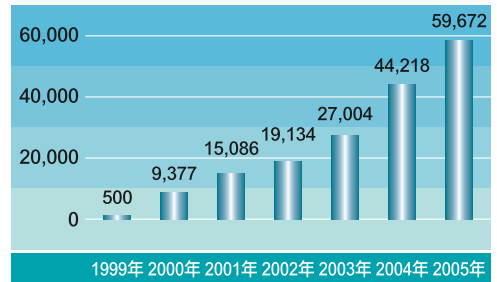
安定した水道電気の供給

用水量

台湾水道局は台南園區への9.93万トン／日の用水供給に合意しており、主要な水源として曾文、烏山頭と南化等のダムが充てられている。また、嘉南農田水利会は毎年4,000万トン(1日約10.9万トン)の用水供給に合意しており、主要水源は曾文と烏山頭ダムである。両者供給量の合計で、1日の最大用水需要量20万トンを満たす。台南園區2005年の平均用水消費量は約5.97万トン／日で、2004年比で35%の成長を示している。

台湾水道局は高雄園區への10万トン／日の用水供給に合意しており、主要な水源として南化ダムが充てられている。これだけで最大用水需要量の10万トン／日を満たしている。高雄園區2005年の平均用水消費量は約180トン／日で、2004年比では、2.5%の増加を示している。

単位：トン／日



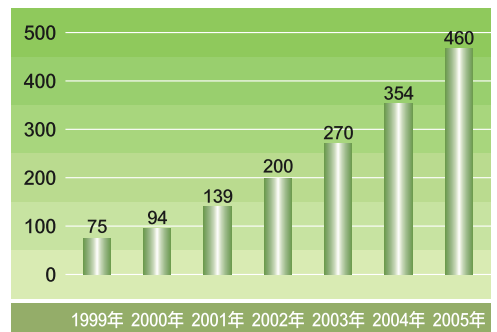
台南園區歴年平均日用水量

用电量

台湾電力会社は台南園區に全国初の地下345KV超高圧変電所送電システムを設置している。これにより、総供給可能電力は250万キロワットにも達し、園區の最大用电量180万キロワット／日を満たしている。園區内にはこの外に5箇所の変電所が設置されており、相互に補い合うことで安定した電力提供を行っている。台南園區2005年消費電力量は約460百万キロワットと、2004年比では30%の成長を示している。

台湾電力会社は高雄園區に345KVの超高圧変電所を設置している。総供給可能電力は240万キロワットにも達し、園區の最大用电量100万キロワット／日を満たしている。高雄園區2005年消費電力量は約1.85万キロワットで、2004年比では5%の成長を示している。

単位：百萬キロワット



台南園區用电量

